



ゆすまいる



ゆすはらの smile さがし

もくじ

- 1～3. 地域福祉活動計画アクションプラン進捗状況報告
 - 4. 社協の地域福祉係はどんな仕事をしているの？ 個別支援編
 - 5～6. 輝く栲原人！み～つけたっ！
 - 7～8. ゆるりだよりー令和6年度のイベントー
 - 9. 東区災害ボランティアセンター運営模擬訓練／地域担当職員紹介
 - 10. 事業計画・予算
- お知らせ
遺言書保管に関する相談のご案内／お詫びと訂正

2025
春号
Number.55



栲原町社会福祉協議会
LINE公式
お友だち登録をお願いします！

登録は
こちら



地域福祉活動計画アクションプラン進捗状況報告



令和6年度は計画が策定されて2年目となります。今回は、各地区の取り組みについて報告します。



東区

東区では、『無理のない見守りの形を考えてもらう話し合い』が11月13日に開催されました。参加者の意見から東区内には現在も見守りの目があることが確認され、今後はこの見守りを維持または充実させることが話し合われます。



防災については、11月27日に防災出前講座と救命救急講習が実施され、土砂災害の知識とAEDを用いた救命処置について10名の方が学ばれました。

また今年度に企画されていた『血鉢料理作りの継承を通じた交流』については協力者の確保が難しく、今後は血鉢料理以外で文化継承と交流について検討していくことが決まっています。

初瀬区



初瀬区では、防災について各部落毎に防災への取組みが話し合われました。

部落代表からは、「部落合同の炊き出し訓練をしたい」、「昼間に地震が起きた想定で防災の取組みを深めたい」との意見が出ており、地域の防災への備えをさらに充実させたい意気込みが感じられる話し合いでした。

また、昨年に引き続き年1回の催し物開催として初瀬区忘年会が西初瀬高齢者合宿施設にて開催され、参加された地域の方がパラスポーツや料理を楽しまれました。

伝統芸能・文化の復活では、佐渡部落伝統の踊り『佐渡くどき』を中心に、披露の仕方等を地域内で話し合いました。また、地域の祭事を記録したファイルをみんなで回覧しました。



越知面区

越知面区では農地保全・農業人材保持を課題として、役場や持続可能な地域社会総合研究所と連携し課題解決に向け検討をしています。

今年度は上本村をモデル地区として、現地の視察や耕作地をマップに落とし込み現状把握を行いました。今後は全地域で調査を行う予定となり、地域全体で農地保全について検討していきます。



交流イベントとして夏祭りでは若い世代が企画運営を行っており、高知県立大と協働することで活気あふれるお祭りとなりました。

3月29日には春祭りを開催し、子育て世代と一緒に血鉢料理の巻き寿司を作り、地元の味を継承することができました。

消防団の消火訓練も同時に行い、火災や捜索の際には活躍してくれる消防団は住民が地域で安心して暮らせる大切な役割を担っていることを再認識し、地域で支え合いの意識がさらに高まったお祭りとなりました。

四万川区



四万川区では世代間交流として【脱藩マラソンの横断幕づくり】と【大人も子どもも楽しめる健康のつどい】イベントを開催し84名が参加しました。

イベントではキジ丼をメインに地元食材を生かした料理も提供され、笑い声が絶えない集いとなりました。

昨年の集活10周年イベントから「いつも会えない地域の人に会えるのが嬉しい。」という声が多く届き、今後も継続して企画をしていきたいと考えています。

また住民さんからやってみよう！と声が上がっている、四万川区内のちょっとした困りごとのお手伝いができる仕組みについて協議がされており今年度は対応できる内容を検討し、実際にお手伝いに出向くなど、自分たちができるボランティアについて具体的に話し合ってきました。

今後も困りごとの把握やボランティアの確保、他の市町村などの取り組みの視察なども検討しており、活動開始に向けて準備をしています。



西区

西区では、【防災】【世代間交流】【集いの場の継続】に取り組んでいます。

防災では、安否確認の方法など現状を共有しました。今後は防災グループを中心に具体的な計画を立て取りくんでいきます。

世代間交流では、12月に西区クリスマス会を実施し、子どもからお年寄りまで楽しく過ごしました（ゆすまいる54号掲載）。

集いの場の継続では、毎月第2木曜日にカフェ「ふらっと西区」を行っています。約15名が集まり、コーヒーを飲みながらみんなで楽しめる集いの場になっています。今回四万川宅老所が可愛らしい脱藩マラソンの横断幕を作成していたので、ふらっと西区でも提案してみると、「やろう！やろう！」「前からやりたいと思いつたがよ♪」と言った声があり、横断幕を作成して、脱藩マラソン当日も応援グッズを持って応援しました。

また、集いの場の継続や拡充を目的に集いの場の運営スタッフを対象にしたレクリエーション勉強会に参加しました。レクリエーション協会の方に集いの場で活用できる楽しいレクリエーションを教えてもらいました。



松原区



松原区では伝統文化の継承やイベントの復活として、新緑まつりや紅葉祭りを開催することができました。

クリスマスイブには、地域の子どもたちにクリスマスプレゼントを毎年配っています。『自分の子どもも貰いよったで』とサンタさんも楽しそうに配っていました。

また、コロナ禍から中止となっていた『松原まつり』が復活！！帰省していた家族さんも一緒になって、賑やかなお祭りとなりました。

松原区は高齢者も多く、大越収集場まで距離がある為、粗大ごみ・不燃物の地域収集の継続に取り組んでいます。実施方法等検討し、2月15日には個別で積み込みや運搬の支援が必要な方の手伝いを行いました。

新たな取り組みとして地域内に休眠資源の再活用を目的としたリユースショップ『くるくるショップまつばら』を開始。資源の持ち込みは松原区の方のみですが、持ち帰りはどなたでも自由に持ち帰り可能ですので、他の地区の皆さんも是非お越しください。





社協3年目の中越萌が職員に密着してみました！



社協の地域福祉係は どんな仕事をしているの？ 個別支援編



西村 悠



今回は日常生活自立支援事業担当の西村さんに密着しました！

1 「日常生活自立支援事業」ってどんな事業なの？

自分ひとりで判断することが不安で、福祉サービスの利用や日常的なお金の管理に困っている方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにお手伝いをします。

<お手伝いの内容>

- * 福祉サービス利用援助
- * 日常的な金銭の管理
- * 書類等の預かり

<費用>

相談は無料ですが、契約後は利用料がかかります。1時間1,500円。※生活保護の方は無料です。

2 社会福祉協議会の「専門員」と「生活支援員」がお手伝いします！

専門員

困りごとや悩みについて相談にのります。手伝ってほしいこと等、**利用者の思いを大切に**支援計画をつくります。

生活支援員

支援計画にもとづいてお手伝いをします。困りごとの相談や生活費の出し入れ、家賃・電気代・ガス代・水道代等の支払い等を行います！



<利用者の思い>

- ・自宅で住み続けたい
- ・人づきあいを大事にしたい
- ・健康に気をつけたい
- ・決められた金額で生活できるようになりたい
- ・趣味を続けたい
- ・貯金をしたい
- ・無駄遣いしないようにしたい
- ・困った時に相談したい 等



3 来訪・電話対応

生活で困っていることや心配なこと、お金の使い方など相談にのります。



4 関係機関と情報共有

利用者の状況に応じて、支援に保健師にも入ってもらい、利用者と関係機関で一緒に暮らしについて(体調やお金のこと)考えます。また、関係機関で情報共有を行い、安心して暮らせるようにお手伝いをします。



利用者の思いに寄り添い支援し、丁寧な関係構築をしていくことが大切だと感じました。また生活支援員さんも地域の方であり、大切な存在です。また金銭面だけではなく、医療面の課題がでてくることもあります。その際には、保健師や関係機関との情報共有と連携が重要なんですね！



なかごし いずる
中越稜威縷さん (94) S7.7月生

越知面田野々に在住。10人兄弟の長男。
【信州流】の庭師として60年以上勤める。退職後は手先が器用な特技を活かし民芸品作りに取り組む。
現在はデイサービスを利用しており、積極的に歌や踊りを披露し楽しく過ごしている。

庭師の経験が高じて光る感性

仕事を探して長野県へ行ったとき、庭師に興味があって師匠に仕事を教えてほしいと頼んだけど、師匠は厳しい人やってなかなか見せてもらえず、門前払い。でもくじけずに「飯を食うより庭が好きやき、仕事を見せてもらえんろうか。」とお酒片手に一生懸命お願いをしてやっと口をきいてもらう。木の剪定の時期や切る方向、暦も関係する。いろんなことを覚えて【信州流】を習得して高知に帰ってきた。

個人宅もいっぱいやってきたし、わかりやすいところでは未来館の前の池は自分がやったところよ。

ケガして庭師を休んだ時に思い付いたのが、手作りの民芸品を売ること。四国カルストをイメージした置物は牛の模型もアメリカから輸入。石もカルストの石を川で削ったものを使ったりして、ひと手間もふた手間もかけた。これも庭師の仕事に通ずるものがあるって手先が器用なことと、修行で磨いた感性が必要。やないと売り物にならんかったらうね。



▲四国カルストをイメージした工芸品

▼太郎川の草ぶきと風車の工芸品

輝く梶原人！み～つけたっ〇〇！

歌が大好きで、デイサービスで素敵な歌声が響きわたり、たくさんの利用者を魅了する稜威縷さんの元気の秘訣についてお話を伺いました。



▲デイサービスで歌を披露する稜威縷さん

「孫は歌えるね～」がきっかけ

歌を始めたきっかけは自分がじい（祖父）と駄屋の家地を作りゆうとときに「歌をうたうか？じいのゆう通り歌えよ。」と言われて教えてもらうた歌が【田植え歌】やった。

♪東～の空の日の出を拝み～。そとめ～揃って田植えをはじめ～♪

こんなようにじいが歌うもんやき、一生懸命真似して歌ったのが始め。長い歌も一回で覚えて歌ったもんやき、じいはびっくりして、「孫はよう歌えるね。」と褒めてもらうたのがうれしくてそこからいっぱい歌を覚えた。【いしぐちくどき】や【すっちょい節】がお気に入りよく披露するがよ。

踊るのも好き。昔、出張で出かけたときに宴会で梶原代表として【どじょうすくい】を相方と二人で踊ったがよ。練習もせんとぶっつけ本番で、衣装も煮しめをしぼったような手ぬぐいなんかを使ってそれはもうぶっつけ本番がばれんように踊ったがよ。そしたらなんと優勝してしもうて～！！それが忘れられん思い出になった。

今はケガしてあの時ほどは踊れんけど、ゆるりのデイサービスには一緒に踊ってくれる職員さんもおってくれてね。こんな人がおるき気持ち楽になって体が動くね。

楽器もできる！自分の楽器はこれ！（お皿と箸）



お箸の持ち方が大切で、一打で2回音が鳴るような叩き方するには修業がいるよ？
太鼓ではできん、お皿ならではの高いこの音が好きで、机の前にはいつもお皿とお箸をおいちょう。こんなことが元気の秘訣やね！

in 越知面

趣味で編んだベストを大切に

昔、日曜女学校に行ったときに、お裁縫を習って得意になったけど、夢中になったのは【編み物】やった。人のやりゆうとこを見ながら真似してやってみたけどだんだん面白くなっていろいろ編んだ。

お気に入りにはベスト！気に入ってよく着いちゅうね。編み目がずれたらやっぱり気になるき、丁寧に編んだで。

お気に入りNO.1



健康の秘訣はお弁当づくり

これからも健康でおりたいき、いろいろ食事のことは考えたりしゆう。自分の健康もそうやけど、息子にも健康でおってもらいたいき、息子のお弁当づくりを買って出てやらしてもらいゆう。

毎日の献立をメモに書いて、食材をとくし丸で買うたり、息子にこのお買い物メモを見てもらって、食材を頼んだり・・・

お弁当は朝4時に起きて作りはじめて、息子を送り出すのが習慣。塩分や野菜など気にして献立を考えるようにしちゅうよ。

孫にも「おばあちゃんのためにお弁当づくりを続けなかん！」と言われちゅうし、無理がない程度で続けていけたらいいな。と思いがらついついいつも献立を考えてしまうがよ（にこにこ）

▼ 献立検討中

▼ 越知面デイ花見遠足



地域の集い（越知面デイ）に参加し、故郷と一緒に参加者といつも元気にお話されているまりこさん。そんなまりこさんの地域での生活についてお聞きしました。



ふたがみ まりに
二神真理子さん (90) S10.3月生

津野町出身。4人兄妹の2番目（長女）として生まれる。子どもが3人、ひ孫ももうすぐ11人となる。
現在は上本村に住み、越知面デイに参加し、地域との繋がりに感謝しながら越知面での生活を楽しんでいる。

近所の人の支えがあったから

小さいころから母のお手伝いを良くしよった。2番目やけどお兄ちゃんはお父さんのお手伝いをしよったき、幼いながらに責任感を感じて小学1年生の時にはいろいろ出来た。苦労したこともあるけど今でも思い出すのは、家の下の川へ家族には黙ってこっそり水浴びをしに行ったこと！内緒で行くからお母さんにはすごく怒られたけど、そんなおてんばなところもあった。

こっちに嫁に来てからは、近所の人のおかげで子どもの子育てはそんなに難しく思わんかった。素直に育ててくれたし、孫も2人育てたけど、近所の人がよく遊びに連れて行ってくれたり、よく気にかけてくれたりして、特別難儀なことはなかった。これもここで子育てができたきやと思う。今は近所の人と毎日電話したり、顔見に行ってお話したり。お互いに気に掛ける存在やね。

越知面デイにはボケ防止で参加しゆう。越知面デイは運動する人もおれば話をして過ごす人もあって、自分の好きなように過ごせるのがいいところ。私は津野町出身の5人で一緒に並んで話をするがやけど、故郷の話がたくさんできるので、話しが合う人と情報交換したりするのが楽しみなちゅうよ。

東区災害ボランティアセンター運営模擬訓練



昨年に引き続き、災害ボランティアセンター運営模擬訓練を2月15日(土)に旧橋原小学校体育館にて開催しました。地域の方から、『実践的な取り組みがしたい』との声を受けて、参加住民をボランティア役と運営スタッフ係に分け、全員体験型の運営訓練を行いました。東区住民21名の方が参加され、疑問に思うことを積極的に質問し、高知県社会福祉協議会ボランティア・NPOセンター所長の間さんより、丁寧に解答頂きました。今後も災害ボランティアセンターのことを知ってもらえる様、取り組んでいきます。



参加者の声 (抜粋)



- ・いざという時に準備が大切かということに気づかされました。
- ・災害の時、動けるか心配。
- ・訓練を定期的に行えば、いざという時にスムーズに動けると思いました。
- ・このような訓練は地区の代表さんだけでなく多くの方に参加していただくことが大事だと思いました。

地域担当職員の紹介

気軽にお声がけください



西村 悠
(にしむら はるか)



東区・初瀬区 担当

川田 沙月
(かわだ さつき)



四万川区・越知面区 担当

前田 京子
(まえだ きょうこ)



西区 担当

畠山 麻衣
(はたけやま まい)



松原区 担当

敬老会 🐦



輪の会やフラダンスの会の方々
地域の方とも交流を深めています。



音楽や芸術などに触れて心身ともにリフレッシュ
できたのではないかと思います。



クリスマス会 🎄



オカリナ演奏や職員のハンドベル演奏



餅つき 🍡



みんなであんこを丸めて、杵と臼で
ついたお餅であんこもちを作りました。

完成！お餅にはおからを入れて
食べて食べやすくしています。



外出レク 🚗



新年、福笑いに挑戦！



日吉夢産地・せいらんの里(ランチビュッフェ)へ
お出かけ。みんなでお腹いっぱい食べました♪

交流会 🧑‍🎓



毎年行っている子ども園との交流会☆
かわいい子どもたちにパワーをもらいました♡

ねらいをさだめて、えいっ！



令和7年度 事業計画・当初予算

事業計画

● 法人運営事業

理事会・評議員会の開催

● 相談援助活動

日常生活自立支援事業
生活困窮者自立相談支援事業
法人成年後見事業
生活福祉資金貸付事業
指定特定相談支援事業
指定障害児相談支援事業

● 地域福祉の推進

安心生活基盤構築事業
地域福祉コーディネーター活動
○ 地域活動
（困り事の早期発見と課題解決）
○ 集いの場への参加
（地域力の維持と継続への後方支援）
福祉教育
○ 梶原学園高齢者疑似体験
○ 梶原高校認知症サポーター養成講座
赤い羽根共同募金助成事業
○ 地域活動推進事業
○ 無料法律相談

● 住民参加の福祉活動の推進

つむぎあい(地域支えあい活動)
リユースゆすはら(休眠資源活用事業)
おげんき発信(高齢者の自発型安否確認)

● 各種団体の活動支援 団体事務局

梶原町老人クラブ連合会
梶原町身体障害者連盟
梶原町共同募金委員会

● 施設運営 複合福祉施設 YURURI ゆすはら

デイサービスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康チェック・機能訓練
ケアハウスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康管理・機能訓練
高齢者生活支援ハウス
○ 生活援助
フィットネス・町民交流室の運営管理

当初予算



